
**2016年3月期
第2四半期決算 及び 通期業績見通し
説明資料**

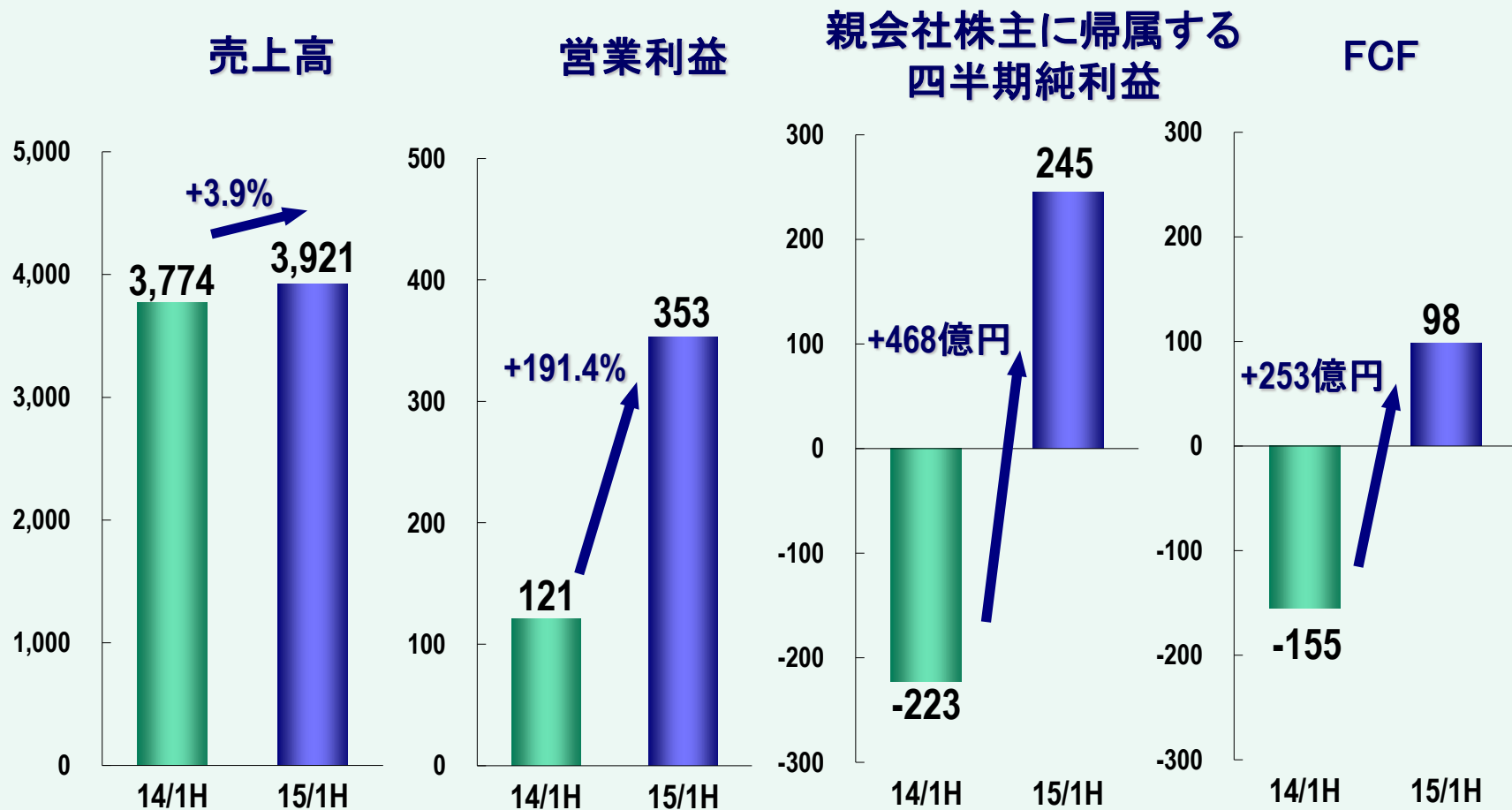
**帝人株式会社
2015年11月2日**

第2四半期決算概況

(1) 2016年3月期 第2四半期決算概況

(億円)

年度累計(前年同期比)



◆ 経営成績

(億円)

	14年度 上期	15年度 上期	差異 金額
売上高	3,774	3,921	+147
営業利益	121	353	+232
<営業利益率>	3.2%	9.0%	+5.8%
営業外損益	19	5	-14
経常利益	140	358	+218
特別損益	-420	-29	+392
税金等調整前 当期純利益	-280	330	+610
法人税等	-33	89	+122
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-23	-4	+19
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-223	245	+468
EPS(円)	-22.74	24.89	+47.63

EBITDA *1	344	544	+200
設備投資 *2	133	164	+31
減価償却費	223	190	-32
研究開発費	154	164	+10
FCF	-155	98	+253

➤ 売上高 増収

- ・ヘルスケア・製品事業等を中心として増収、円安効果も寄与

➤ 営業利益・経常利益 大幅増益

- ・原燃料価格の低下、構造改革効果により、素材事業の収益率改善
- ・主力製品・サービスの好調により、ヘルスケア事業も堅調に推移

➤ 四半期純利益 大幅増益

- ・経常利益増益に加え、特別損失の発生大幅減

◇ PL換算レート

	14年度 上期	15年度 上期
円／米ドル	103	122
円／ユーロ	139	135
米ドル／ユーロ	1.35	1.11

*1: EBITDA (営業利益+減価償却費)にて算出 *2: 設備投資には無形固定資産を含む

◆ 営業外損益

(億円)	14年度 上期	15年度 上期	差異 金額
受取利息	3	3	+0
受取配当金	8	10	+2
持分法による投資利益	16	20	+4
為替差益	5	—	-5
デリバティブ評価益	10	—	-10
雑収入	4	7	+3
営業外収益 計	46	40	-5
支払利息	14	13	-1
為替差損	—	6	+6
デリバティブ評価損	—	1	+1
雑損失	12	15	+3
営業外費用 計	27	35	+9
営業外損益 計	19	5	-14

◆ 特別損益

(億円)	14年度 上期	15年度 上期	差異 金額
固定資産売却益	1	1	+0
投資有価証券売却益	1	1	+0
減損損失戻入益	1	19	+18
その他	0	2	+2
特別利益 計	2	23	+21
固定資産除売却損	4	6	+2
減損損失	305	8	-298
事業構造改善費用	111	34	-77
その他	2	4	+1
特別損失 計	422	51	-371
特別損益 計	-420	-29	+392

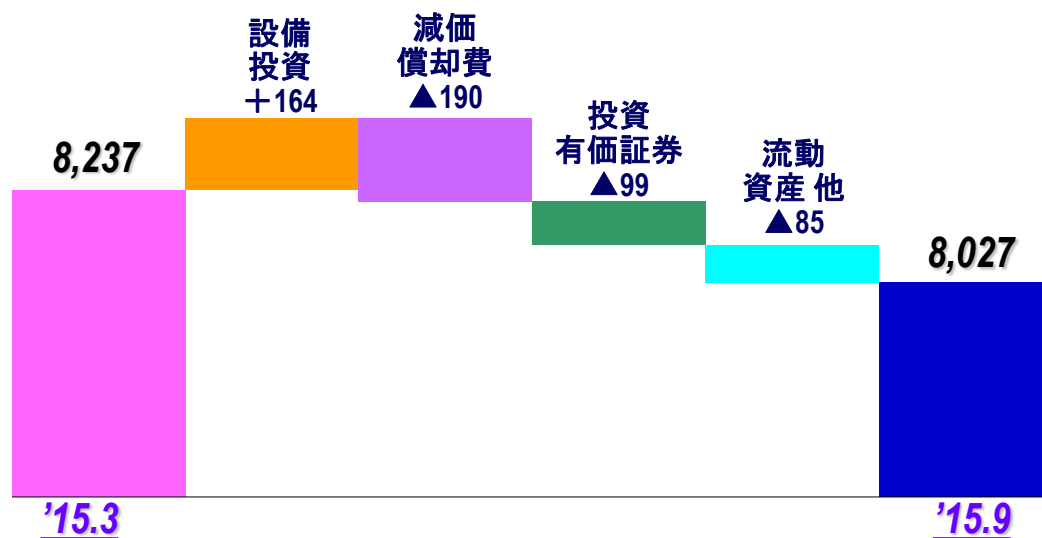
◆ 財政状態

(億円)	15年 3月末	15年 9月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	8,237	8,027	-210	-22
自己資本	2,871	3,023	+152	-5
有利子負債	3,082	2,836	-247	-10
D/Eレシオ	1.07	0.94	-0.14	
自己資本比率	34.9%	37.7%	+2.8%	

◆ キャッシュ・フローの状況

(億円)	14年度 上期	15年度 上期	差異
営業活動	228	263	+35
投資活動	-384	-165	+218
FCF	-155	98	+253
財務活動他	148	-283	-431
現金及び 現金同等物 増減	-7	-185	-178

◇ 総資産増減内訳



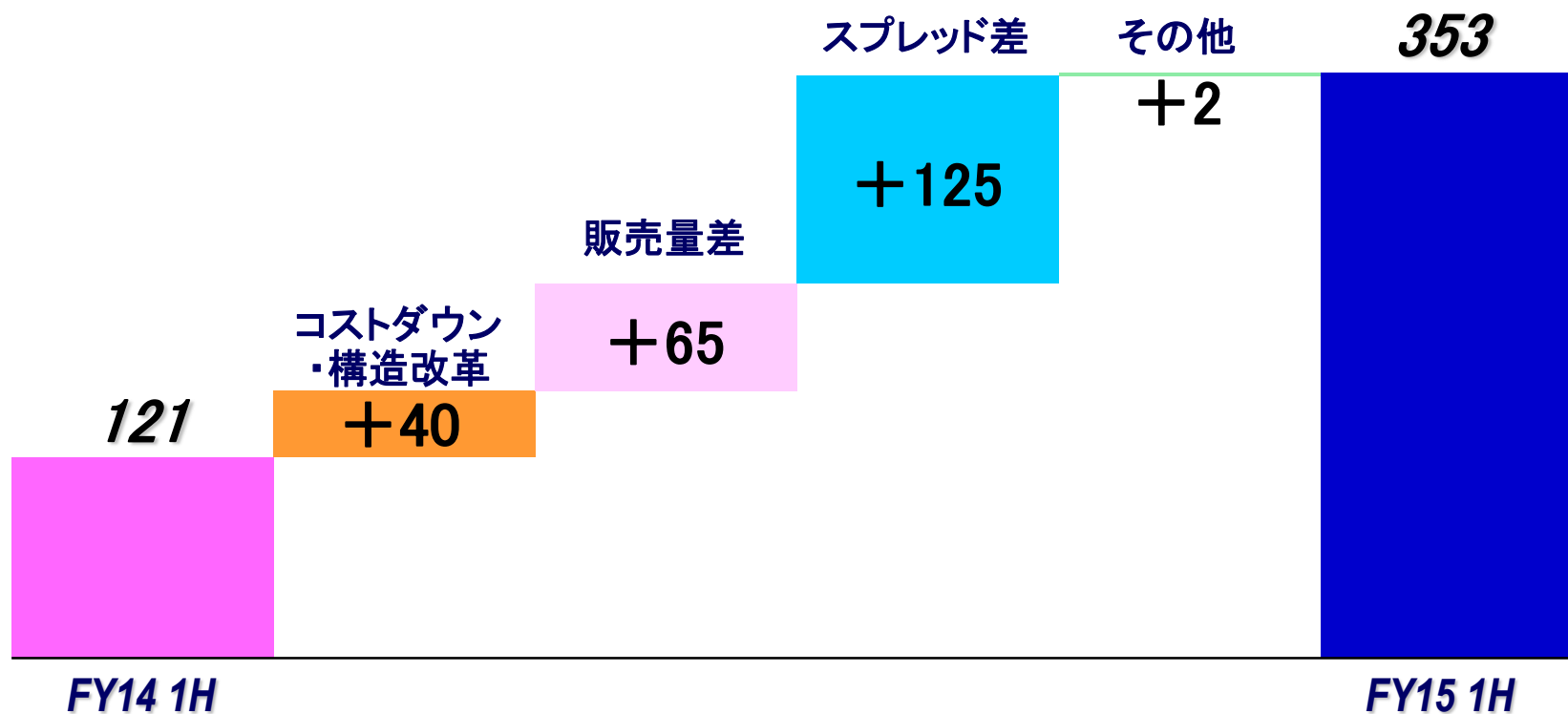
◇ BS換算レート

	15年 3月末	15年 9月末
円／米ドル	120	120
円／ユーロ	130	135
米ドル／ユーロ	1.08	1.13

◆ 営業利益増減内訳

ヘルスケア事業を中心とした増販効果と、素材事業における原燃料価格ダウンが大幅増益に寄与

(億円)



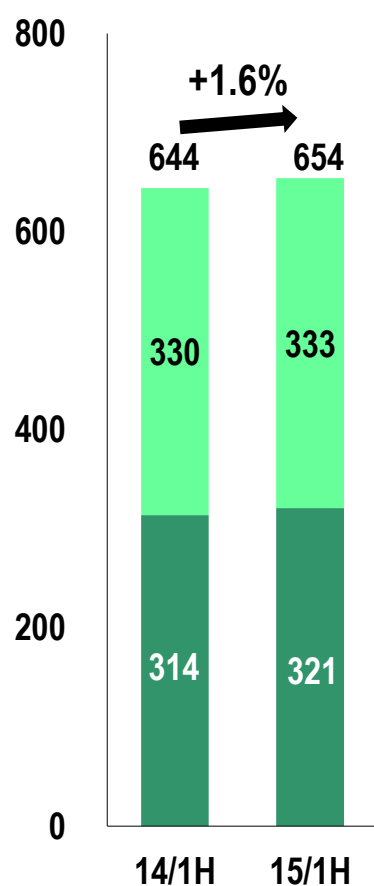
(2) セグメント別 売上高・営業利益比較(対 前年同期)

(億円)	売上高				営業利益			
	14年度 上期	15年度 上期	差異	増減率	14年度 上期	15年度 上期	差異	増減率
高機能繊維・複合材料	644	654	+10	+1.6%	47	93	+46	+98.2%
電子材料・化成品	922	873	-49	-5.3%	-13	119	+132	—
ヘルスケア	678	748	+70	+10.4%	121	168	+47	+38.6%
製品	1,236	1,301	+65	+5.3%	20	22	+2	+11.8%
計	3,480	3,577	+97	+2.8%	174	401	+227	+130.7%
その他	294	344	+50	+16.9%	5	19	+14	+284.0%
消去又は全社	—	—	—	—	-58	-67	-9	—
合計	3,774	3,921	+147	+3.9%	121	353	+232	+191.4%

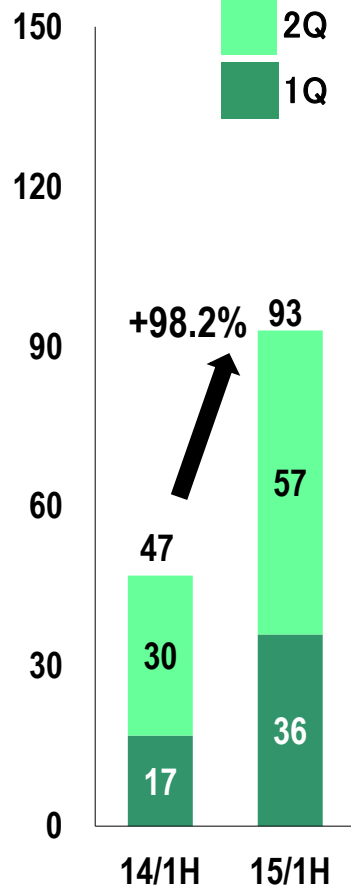
①高機能繊維・複合材料事業：売上高横ばい / 利益倍増

売上高

(億円)



営業利益



(億円)	14/1H	15/1H	差異	増減率
売上高	644	654	+10	+1.6%
営業利益	47	93	+46	+98.2%

◆事業概況

◇高機能繊維：

パラアラミド繊維：

- ・自動車用途、海外インフラ関連用途向け順調
- ・防弾・防護(ユニフォーム)用途は低調推移

メタアラミド繊維：

- ・フィルター用途は激しい競合環境が継続

ポリエステル繊維：

- ・自動車用途は国内外とも軟調
- ・衛材・マシン系等の資材用途やRO膜支持体用途の拡販及びコストダウンで収益確保

◇炭素繊維・複合材料：

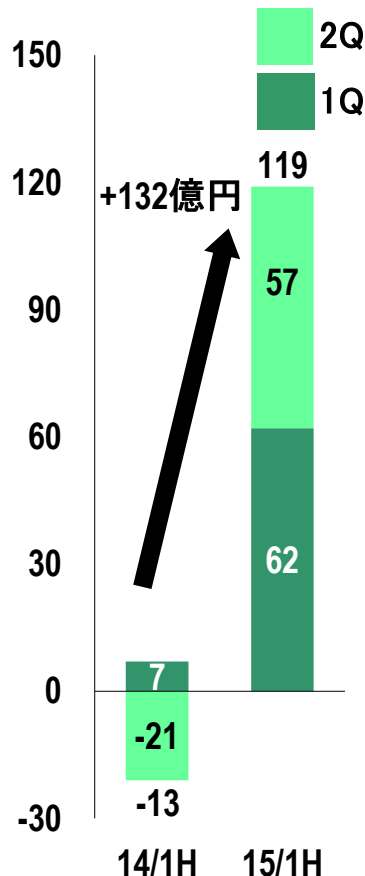
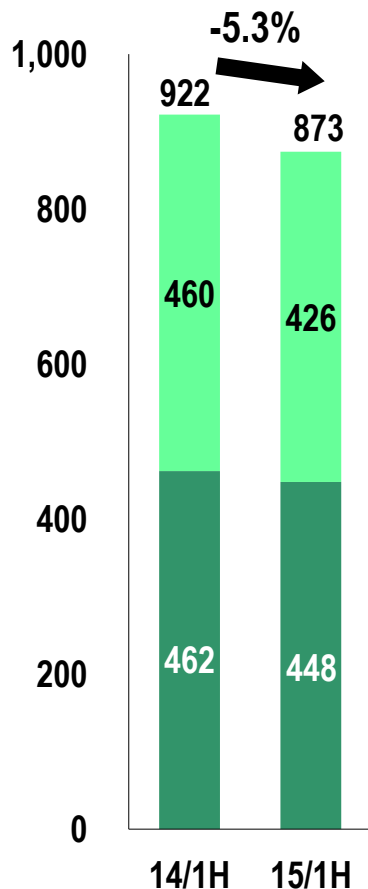
- ・航空機用途は順調に推移
- ・一般産業用途の販売は堅調
- ・スポーツ・レジャー用途は需給バランス軟化

②電子材料・化成品事業：減収 / 大幅増益・黒字転換

売上高

営業利益

(億円)



(億円)	14/1H	15/1H	差異	増減率
売上高	922	873	-49	-5.3%
営業利益	-13	119	+132	—

◆事業概況

◇樹脂:

PC樹脂:

- 主原料価格の低下、販売構成改善、構造改革効果の発現により利益大幅改善
- 高付加価値品の開発・販売を強化

樹脂加工品・特殊PC:

- 位相差フィルム、PC製透明導電性フィルム、特殊PCは堅調を維持

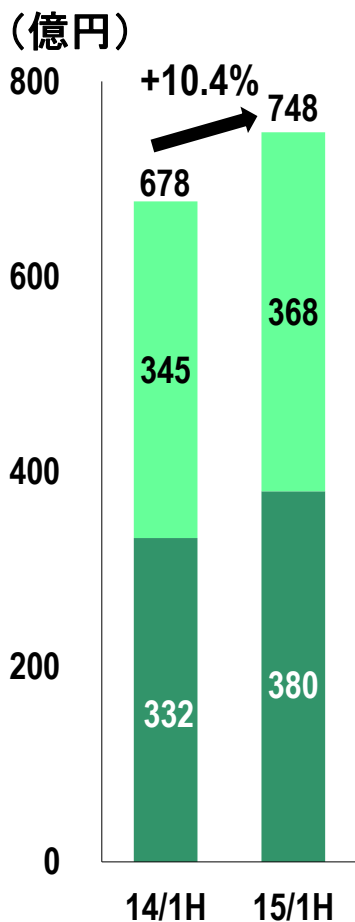
PPS樹脂の商業生産立ち上げに注力

◇フィルム:

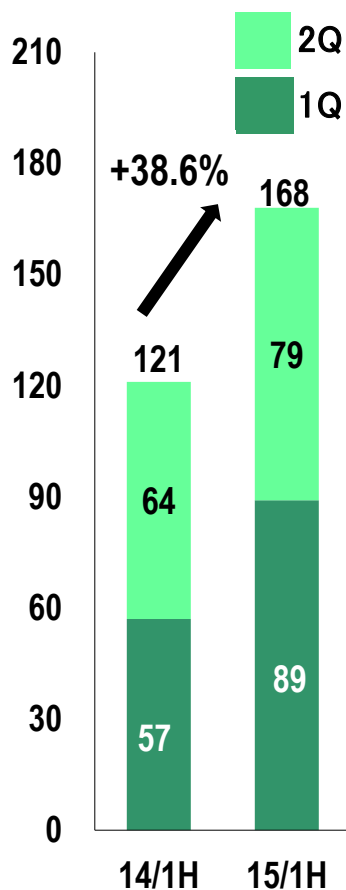
- 液晶TV向け反射板、特殊包装、磁気用PENフィルムで苦戦
- 工程用離型フィルム堅調

③ヘルスケア事業：増収 / 大幅増益

売上高



営業利益



(億円)	14/1H	15/1H	差異	増減率
売上高	678	748	+70	+10.4%
営業利益	121	168	+47	+38.6%

◆事業概況

◇医薬品：

- 長期収載品は苦戦も、高尿酸血症・痛風治療剤「フェブキソスタット」、先端巨大症治療剤「ソマチュリン*1」等の新薬群は伸長
- 骨粗鬆症治療剤「ボナロン*2」、去痰剤「ムコソルバン」の剤形追加品の拡大注力

◇在宅医療：

- HOT: レンタル台数を維持
- CPAP: レンタル台数は着実に伸長
- 米国では厳しい事業環境が継続
営業所の統廃合・人員削減等の改善策を推進

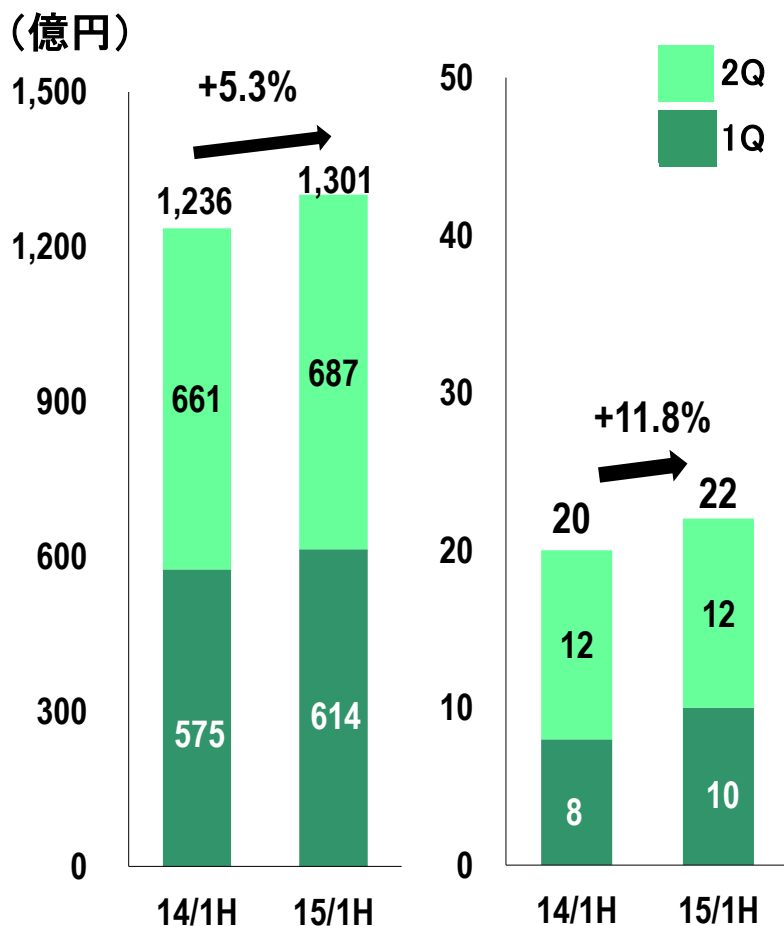
*1 ソマチュリン®/Somatuline®は、Ipsen Pharmaの登録商標です。

*2 ボナロン®/Bonalon®はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

④製品事業：増収／増益

売上高

営業利益



(億円)	14/1H	15/1H	差異	増減率
売上高	1,236	1,301	+65	+5.3%
営業利益	20	22	+2	+11.8%

◆事業概況

衣料繊維：

- ・ 欧米スポーツアパレル向けの販売拡大、全体を牽引
- ・ OEM事業は、海外現地生産における人件費高騰と円安により採算悪化
- ・ アセアン地域(ベトナム・ミャンマー)での生産体制強化

産業資材：

- ・ 高機能タイヤ用補強材を中心に堅調に推移
- ・ 国内の土木資材等は荷動き低調も、機能素材輸出は好調維持
- ・ メディカル・介護分野での取り組み強化

2016年3月期 通期業績見通し

◆ 事業環境

マクロ経済

中国をはじめとしてアジア・新興国で減速基調強まる
先進国は堅調維持も、総需要の減退を受けた原油安等影響は広範に渡る

下期前提

為替 : 足元レベルで想定 (120円/米ドル、135円/ユーロ)
原油 : 足元レベルの当面継続を予想 前回見通し\$65/bi ⇒ 今回見通し\$50/bi

事業	事業環境	
	上期	下期以降
アラミド繊維	自動車、油田採掘用途等は堅調 防護衣料が一部減速	タイヤ・油田採掘用途は引き続き堅調 防護衣料の回復は期待薄
炭素繊維	航空機は堅調 スポーツ・レジャー後半やや軟化	航空機向けの拡大継続 スポーツ・レジャーは市場減速
樹脂	原料価格下落・スプレッド高止まり	中国景気減速の影響顕在化により 各社の安値攻勢強まる
フィルム	液晶TVは中・韓での需要低迷継続、 電子部品は堅調	液晶TV向け需要の回復は期待薄 電子部品は引き続き需要旺盛
医薬品	フェブリク好調 ベニロン出荷停止(6月～)	フェブリク:安定成長継続 ベニロン:段階的に出荷再開
在宅医療	国内堅調 米国苦戦継続	国内:引き続き堅調 米国:当面は厳しい環境が継続

◆ 通期業績見直しの概況

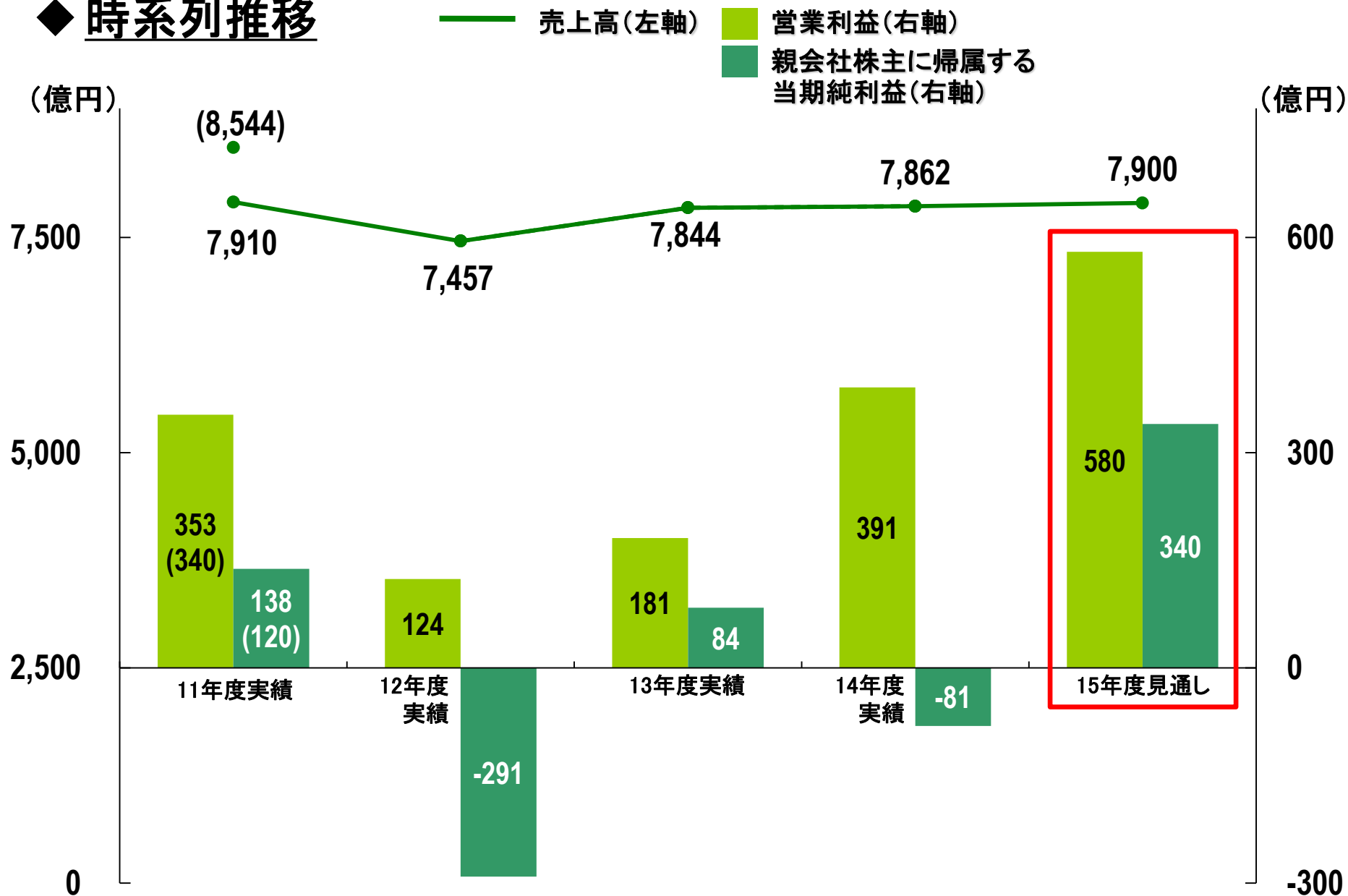
(億円)	14年度 実績	15年度 見直し	差異		15年度 前回見直し*2	前回見直し との差異 (金額)
			金額	%		
売上高	7,862	7,900	+38	+0.5%	8,100	-200
営業利益	391	580	+189	+48.4%	530	+50
<営業利益率>	5.0%	7.3%	—	+2.4%	6.5%	—
経常利益	424	580	+156	+36.9%	530	+50
親会社株主に帰属する 当期純利益	-81	340	+421	—	300	+40
設備投資 *1	281	440	+159		440	—
減価償却費	430	400	-30		400	—
研究開発費	324	340	+16		340	—
FCF	264	150	-114		150	—

*1 設備投資には無形固定資産を含む

*2 前回見直しは2015年7月30日公表

中間配当 及び 期末配当予想	中間配当	期末配当	年間配当
		3.0円/株 (確定)	4.0円/株 (見直し)

◆ 時系列推移



* ()内 一部子会社の決算期統一影響額を含んだ数値

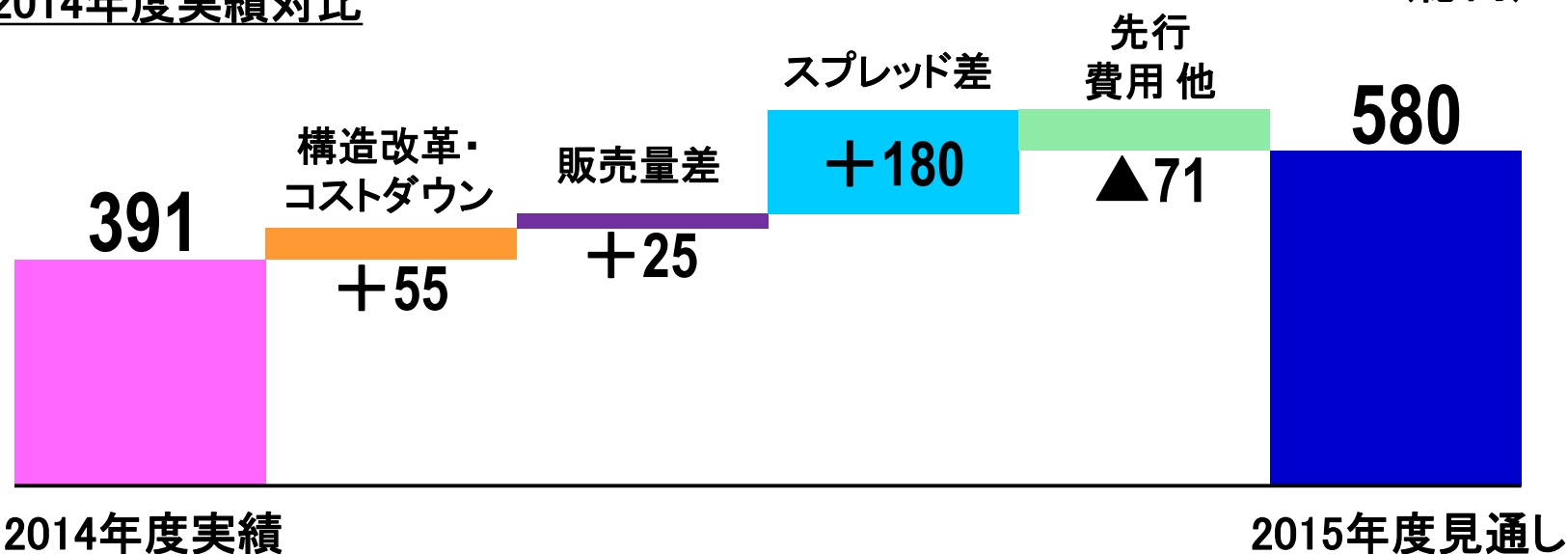
◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前年実績対比)

		14年度実績			15年度見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(億円)								
売上高	高機能繊維・複合材料	644	711	1,355	654	746	1,400	+45
	電子材料・化成品	922	926	1,848	873	777	1,650	-198
	ヘルスケア	678	739	1,417	748	702	1,450	+33
	製品	1,236	1,358	2,594	1,301	1,349	2,650	+56
	計	3,480	3,734	7,214	3,577	3,573	7,150	-64
	その他	294	354	648	344	406	750	+102
	合計	3,774	4,088	7,862	3,921	3,979	7,900	+38
営業利益	高機能繊維・複合材料	47	97	144	93	92	185	+41
	電子材料・化成品	-13	47	34	119	46	165	+131
	ヘルスケア	121	127	248	168	102	270	+22
	製品	20	23	42	22	28	50	+8
	計	174	294	468	401	269	670	+202
	その他	5	35	40	19	41	60	+20
	消去又は全社	-58	-60	-117	-67	-83	-150	-33
合計	121	270	391	353	227	580	+189	

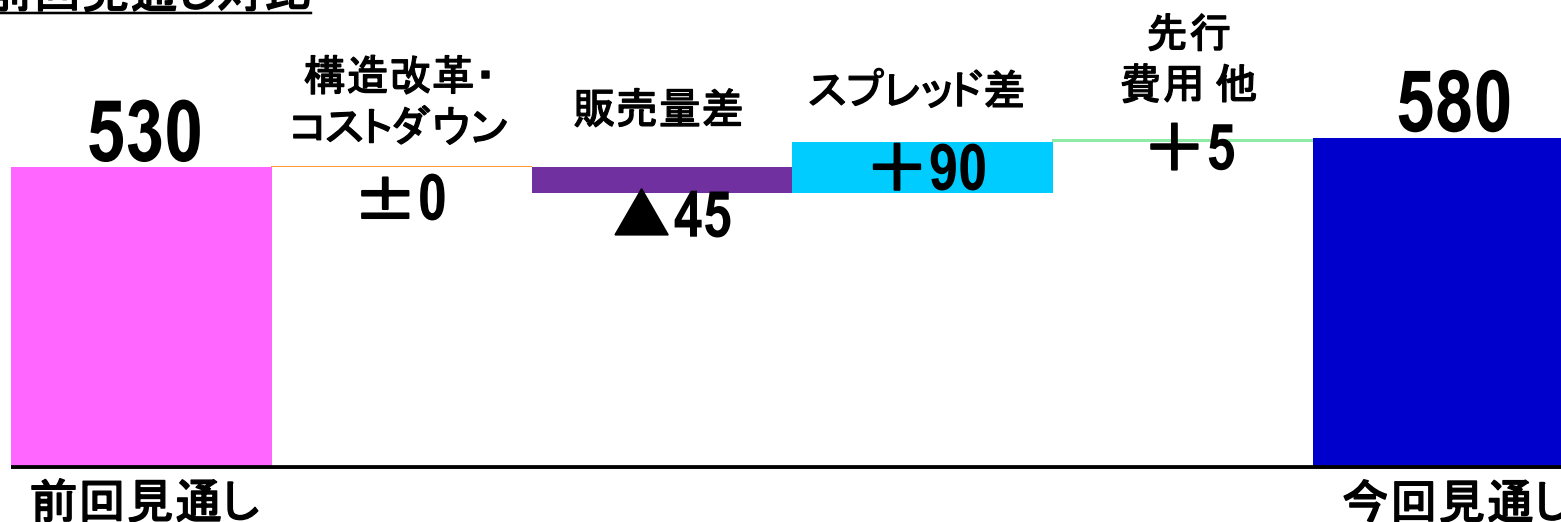
◆ 営業利益増減分析

➤ 2014年度実績対比

(億円)



➤ 前回見通し対比



◆ 短期注力課題

➤ 構造改革の着実な推進

ー 環境に影響を受けない事業構造への転換促進

- 樹脂 : 販売構成改善注力(コンパウンド比率アップ)、高付加価値分野開拓
- フィルム : 国内生産拠点集約に向けた銘柄移管推進
- 米国在宅 : 抜本的対策の早期実施

➤ 重点戦略事業の成長確保

ー 成長ドライバーの拡大加速

- アラミド繊維 : 中国に加え、東欧・南米・中東・アセアンの需要深耕
- 炭素繊維 : 航空機・圧力容器用途の更なる拡販
- 医薬品 : フェブリクのプロモーション強化、適応症拡大
- 在宅医療 : CPAP拡大(潜在患者の掘り起し)

➤ 発展戦略に向けた積極的な資源投入の推進

ー 早期の収益貢献へ

- 複合化・融合領域開拓に向けた研究開発の推進、M&A機会の追求
- 顧客視点に基づく販売・研究組織の変革にも着手

◆ 主要経営指標

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 見通し
ROA：営業利益／総資産	4.5%	1.6%	2.4%	4.9%	6.9%
ROE：当期利益／自己資本*1	4.2%	-10.3%	3.0%	-2.8%	11.4%
売上高営業利益率	4.0%	1.7%	2.3%	5.0%	7.3%
D/Eレシオ*2	0.89	1.00	1.00	1.07	1.0
自己資本比率	38.3%	35.6%	36.7%	34.9%	36.9%
1株当たり当期純利益(円)	12.2	-29.6	8.5	-8.2	34.6
1株当たり配当金(円)	6.0	4.0	4.0	4.0	7.0
総資産(億円)	7,621	7,624	7,684	8,237	8,400
有利子負債(億円)	2,610	2,708	2,815	3,082	3,000
EBITDA(億円)*3	863	592	637	821	980

*1 「当期純利益÷自己資本」にて算出

*2 「有利子負債÷自己資本」にて算出

*3 「営業利益+減価償却費」にて算出

修正中期計画の進捗

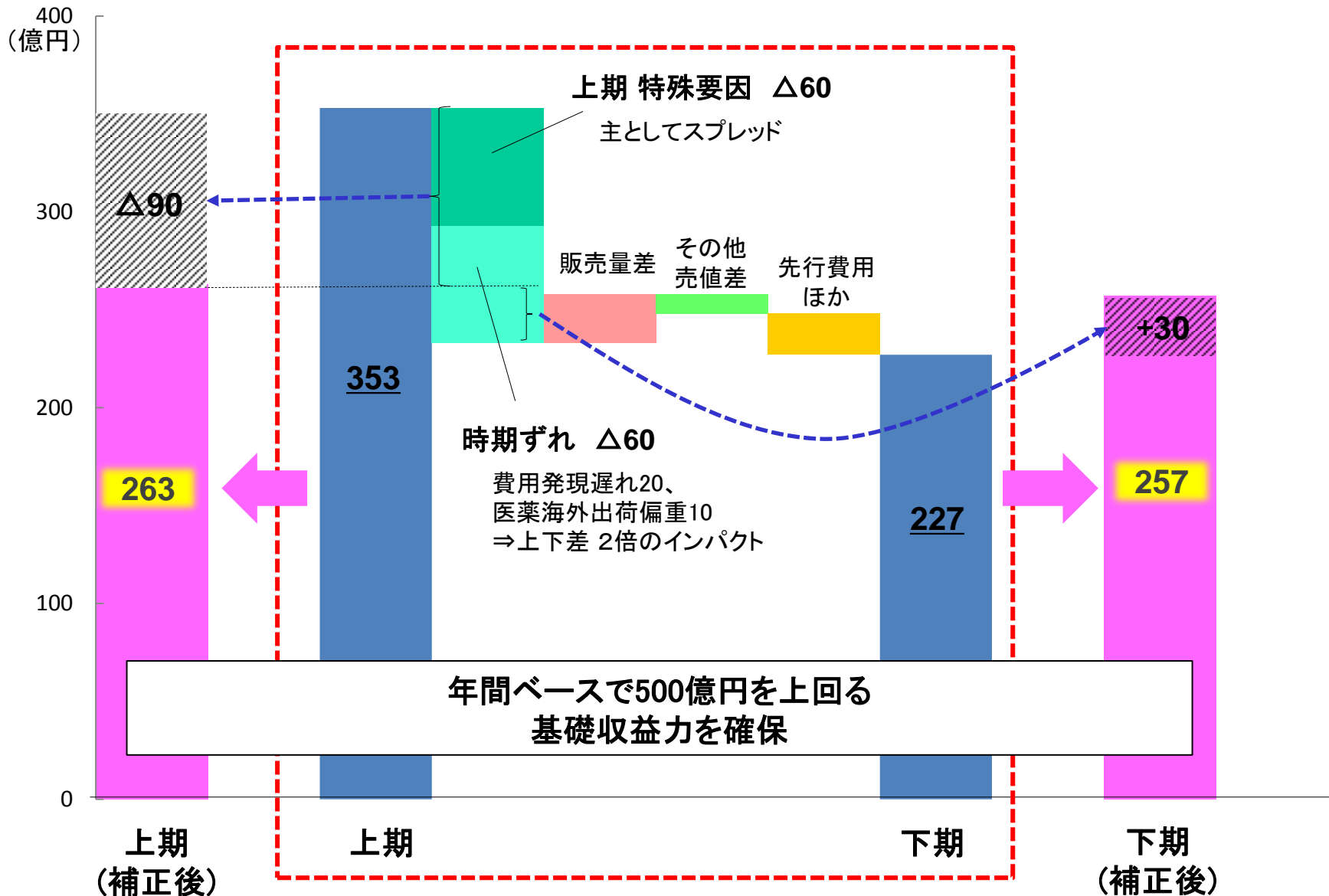
◆ 構造改革の着実な推進

	2015	2016	2017～
樹脂	<p>★ シンガポール工場撤収</p> <p>→ コンパウンド注力 自動車、インフラ、住設、医療用途拡大</p>	<p>★ 国内生産一元化</p>	<p>高付加価値用途 への特化 複合領域の開拓</p>
フィルム	<p>→ 難燃フィルム等の活用</p> <p>高機能ガラス、電池分野、センサー分野注力</p>		
米国在宅	<p>→ 営業所統廃合 人員削減</p>	<p><----(★)----> 更なる抜本的対策の実施</p>	
高機能繊維		<p>ポリエステル繊維 タイへの段階的生産移管</p>	<p>→★ 国内工場の 一部閉鎖・生産停止</p>
原料重合		<p>★ DMT生産停止</p>	<p><----(★)----> ポリマー重合工場再編</p>

昨年度11月公表の「修正中期計画」に沿って
当初想定どおり進捗

◆ 基礎収益力の回復

2015年度上期 - 下期 営業利益 構造分析



◆ 構造改革から発展戦略へ

重点戦略事業の収益拡大

- ・アラミド繊維、炭素繊維・複合材料
- ・フェブリク、CPAP

商品ラインナップ強化

- ・メタアラミド繊維「Conex neo」
- ・PPS樹脂
- ・メンブレン「miraim」

素材複合化

- ・熱可塑性CFRP、
- ・革新的セパレータ
- ・高靱性構造材

融合(素材×ヘルスケア)

- ・止血シート
- ・埋め込み型(インプラント)医療機器
人工関節 / 心臓修復パッチ

構造改革

- ・汎用品ビジネスからの脱却
- ・コスト競争力の強化

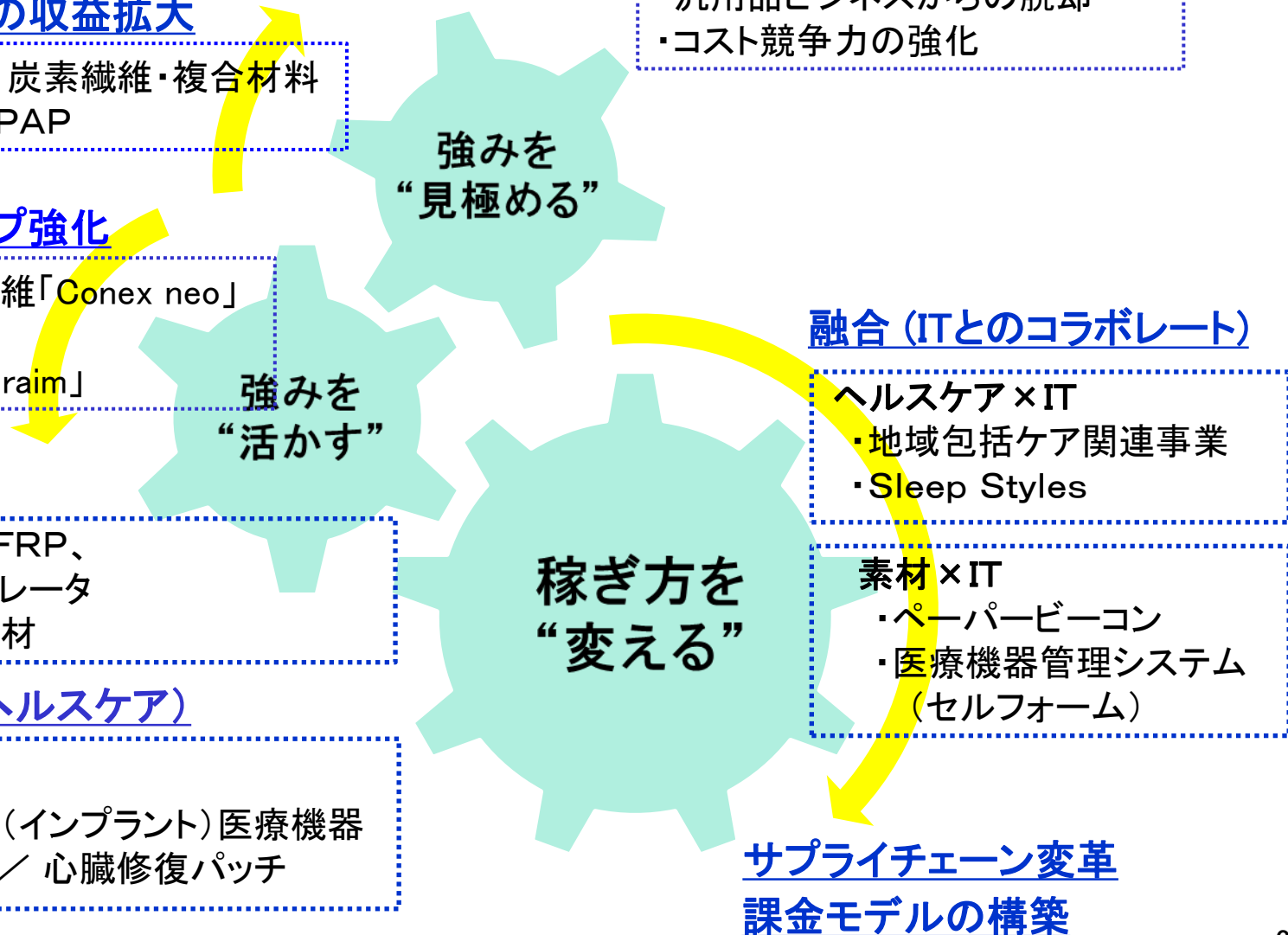
融合(ITとのコラボレート)

- ヘルスケア×IT
- ・地域包括ケア関連事業
- ・Sleep Styles

素材×IT

- ・ペーパービーコン
- ・医療機器管理システム
(セルフフォーム)

サプライチェーン変革 課金モデルの構築



主要アクション(2015年上期)①

ー重点戦略事業の拡大／商品ラインナップ強化ー

■ 高機能繊維・複合材料

- ・ 新規メタアラミド繊維 タイ工場の本格稼働開始
セーフティーソリューション分野でのマーケットリーダーを目指す



■ 新事業推進

- ・ メンブレン(微多孔膜)事業 本格展開
高機能メンブレン「miraim」異物除去フィルター・細胞培地シート等へ展開



■ 医薬品

- ・ 経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコアテープ」

製造販売元である大正製薬(株)が製造販売承認を取得
今後、大正富山医薬品(株)とともに共同販売を展開



- ・ フェブキソスタット 適応症の拡大

国内(フェブリク):「がん化学療法に伴う高尿酸血症」への適応
欧州でも腫瘍崩壊症候群に適応症拡大、販売保護期間も延長



- ・ ペプチドリーム社と共同研究開発契約を締結

従来の低分子医薬品では制御が困難であった様々な創薬標的を探索

主要アクション(2015年上期)②

一 発展戦略への取り組み一

■ ヘルスケア × IT (在宅医療)

- ・ 地域包括ケアの展開 : 患者情報共有システム「バイタルリンク」

在宅療養患者の生体情報を、測定器からモバイル端末に取り込み、
医師・ケアマネージャー等の間でリアルタイムに共有

急性増悪の早期把握、患者自身によるセルフケアの支援等
最適な在宅医療の実現へ

- ・ 睡眠に関する総合サービス展開 : 「Sleep Styles」

(*) <http://www.sleepstyles.jp/>

【情報提供】 睡眠情報メディア「Fuminners(フミナーズ)」

【場の提供】 おひるねカフェ「corne(コロネ)」

【睡眠支援アプリ】 睡眠ウェブサービス「オハログ」

日本人の睡眠実態を定点観測する夏のキャンペーン*を展開し、
キャンペーンに参加した1,826名、及び「ねむログ」に登録している
42,376名を対象に調査とそのデータ解析を実施

*「夏ノ睡眠ヲ解明セヨ」 <http://www.sleepstyles.jp/about/#camp>



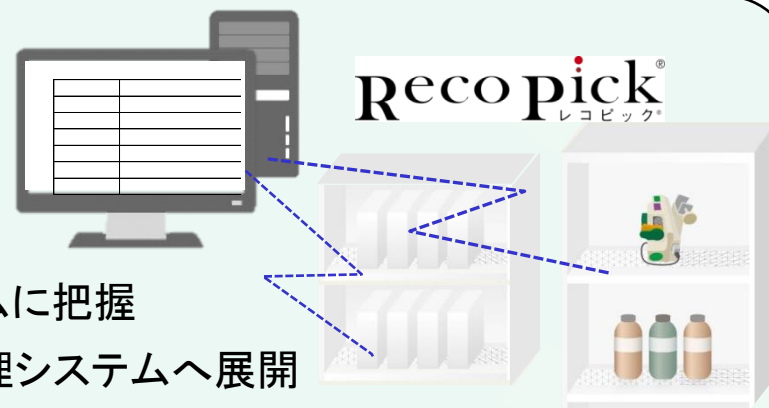
主要アクション(2015年上期)③

ー発展戦略への取り組みー

■ 素材 × IT (新事業)

棚管理システム「レコピック」

- ・ 入在庫・在庫状況・所在を正確かつリアルタイムに把握
- ・ 図書・機密文書から医療機器に至る物品の管理システムへ展開



表面認証ビーコン「Paper Beacon」

- ・ スマートフォンやタブレットを置くことで ネットワークへの接続を認証する世界初シート型ビーコン
- ・ 学校教育やレストラン・工場・オフィスでの活用を検討



■ 素材 × ヘルスケア (新規医療材料)

融合製剤棟 稼働開始

- ・ 止血・接着効果の高い外科手術用シート状接着剤「KTF-374」の開発
- ・ その他融合領域の新規製品開発に向けて体制を整備・強化

人工関節事業 合併スタート

- ・ 帝人ナカシマメディカル(株)
帝人の「素材技術」「営業力」投入により企業価値向上へ



見直しに関する注意事項と事業等のリスク

見直しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

事業等のリスク

業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

① 競合・市況変動にかかもの

帝人グループは市況製品を展開しており、景気動向、他社との競合に伴う市場価格の変動、購入原燃料の価格変動、また為替、金利といった相場の変動が事業業績に影響を及ぼす可能性があります。

② 製品の品質にかかもの

事業活動全般において品質保証を確保する体制を敷いていますが、製品・サービスの欠陥が業績、財務状況、社会的評価等に悪影響を及ぼす可能性があります。

③ 研究開発にかかもの

研究開発に対し積極的に経営資源を投入していますが、特に医療用医薬品の開発には、多額の費用と長い期間がかかるうえ、創薬研究において、有用な化合物を発見できる可能性は決して高くありません。また、種々の要因により承認申請を断念しなければならない可能性があります。また、承認申請した後でも承認が取り消されることがあります。

④ 海外活動にかかもの

海外での活動について為替変動に係るリスクのほか、予期しない法律・規制の施行、不利な影響を及ぼす租税制度の変更、経済変動、政変・テロ・戦争等による社会的混乱により、経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 事故・災害にかかもの

大規模な自然災害や不慮の事故等により生産設備が損害を受けた場合や原材料の供給等サプライチェーンに大きな障害が生じた場合は、帝人グループの経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

本資料は、2015年11月2日午前11時30分に公表した弊社決算発表に基づくものです。
本資料に記載された製品名等は登録商標です。

◆ 連結貸借対照表

(億円)	13年 12月末	14年 3月末	14年 6月末	14年 9月末	14年 12月末	15年 3月末	15年 6月末	15年 9月末
資産 合計	7,910	7,684	7,838	7,798	8,327	8,237	8,164	8,027
流動資産	3,856	3,649	3,676	3,708	4,131	4,060	3,956	3,956
固定資産	4,054	4,035	4,162	4,090	4,196	4,177	4,208	4,071
負債・純資産 合計	7,910	7,684	7,838	7,798	8,327	8,237	8,164	8,027
負債	4,893	4,683	4,838	4,993	5,391	5,201	4,963	4,838
(内 有利子負債)	2,969	2,815	3,034	3,020	3,173	3,082	2,943	2,836
純資産	3,017	3,001	3,000	2,805	2,936	3,036	3,202	3,190

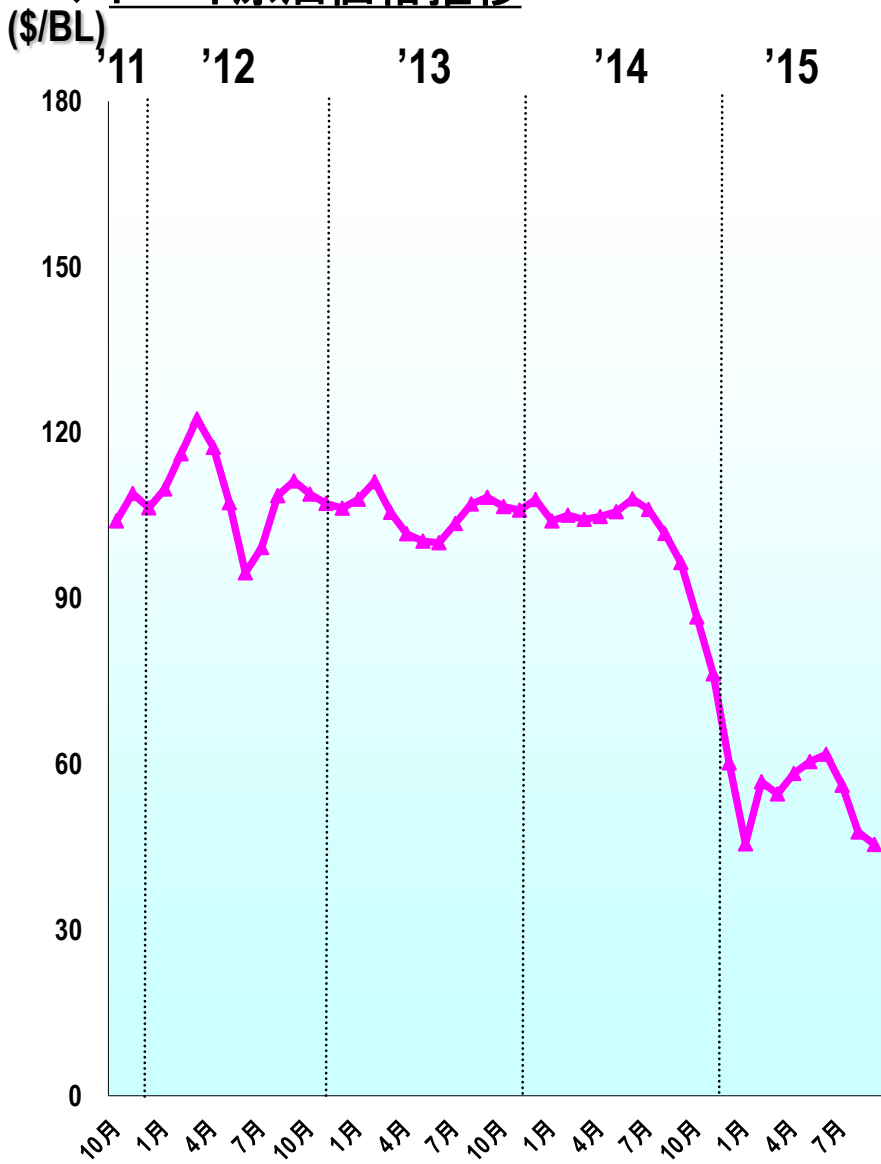
* 詳細については決算短信をご覧ください

◆ 連結損益計算書

(億円)	14年度				15年度		14年2Q 15年2Q 比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上高	1,819	1,955	2,011	2,077	1,926	1,995	+40
売上原価	1,339	1,452	1,451	1,453	1,308	1,345	-107
売上総利益	480	503	560	624	617	650	+147
販管費	431	430	435	479	453	461	+30
営業利益	48	73	124	145	164	189	+116
営業外損益	-2	21	25	-11	16	-11	-31
（内 金融収支）	1	-5	-2	-6	5	-5	+0
（内 持分法投資損益）	4	12	9	-1	9	11	-1
経常利益	47	94	149	134	180	179	+85
特別損益	-8	-412	-41	-32	-13	-16	+397
税前利益	39	-319	108	102	167	163	+482
法人税等	24	-57	29	35	55	35	+91
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-1	-22	-0	4	0	-4	+18
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	-240	79	63	112	133	+373

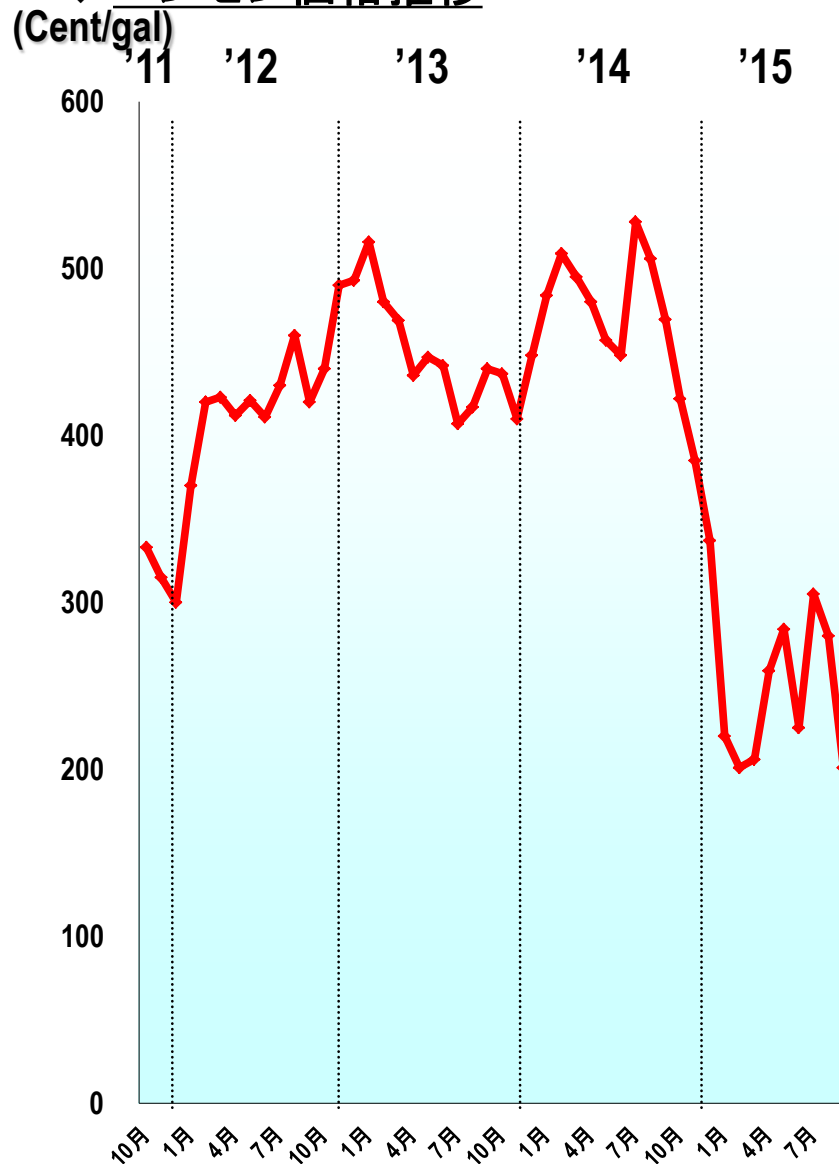
* 詳細については決算短信をご覧ください

◆ ドバイ原油価格推移



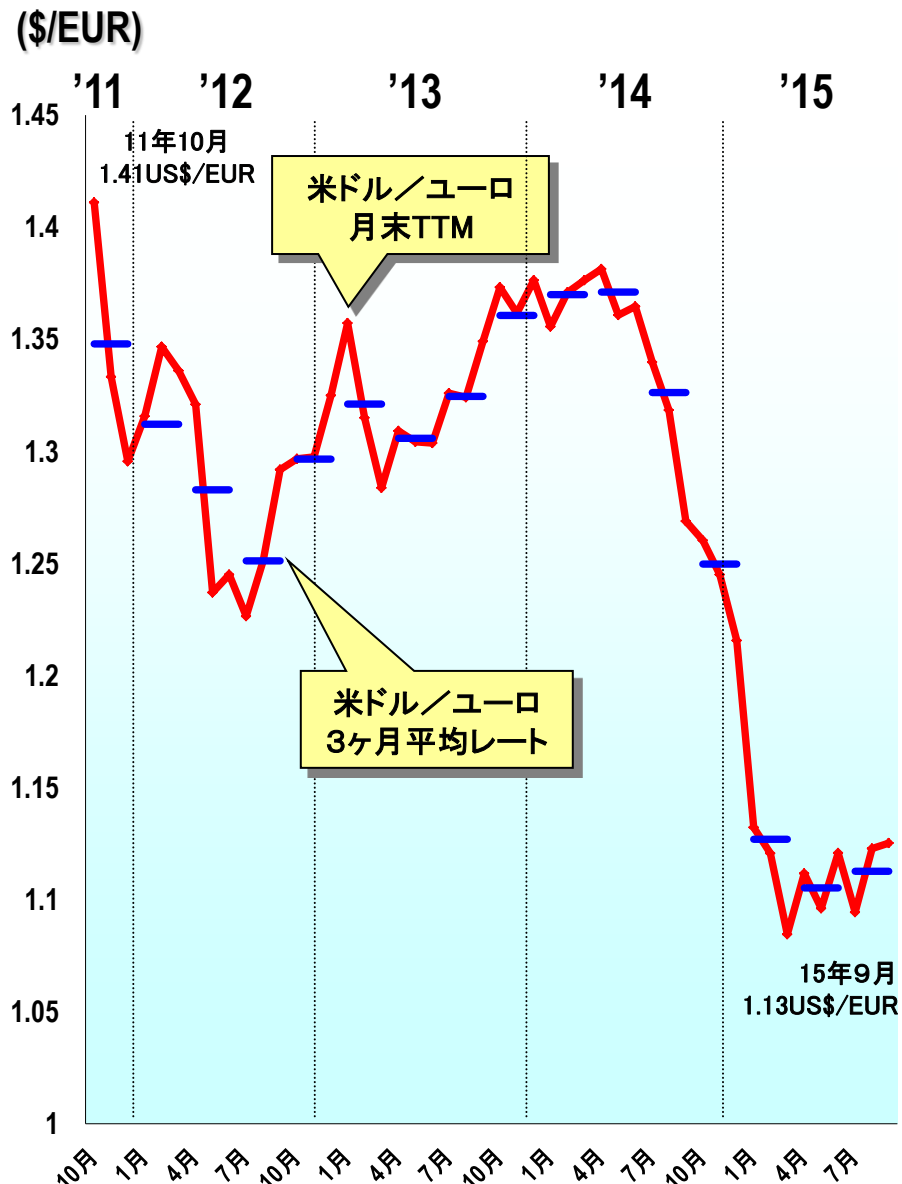
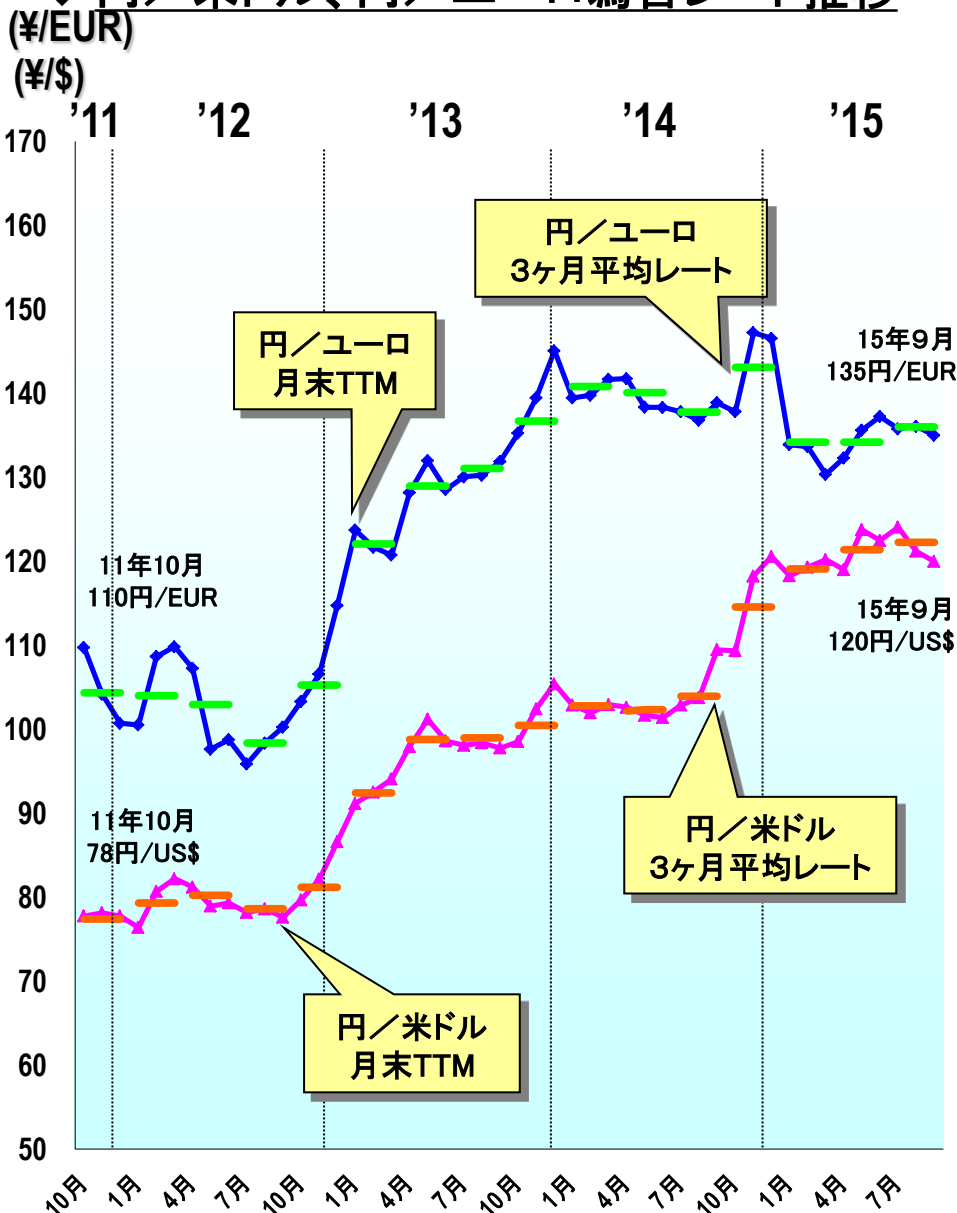
【出所:Platt's社のDATAを基に弊社推定】

◆ ベンゼン価格推移



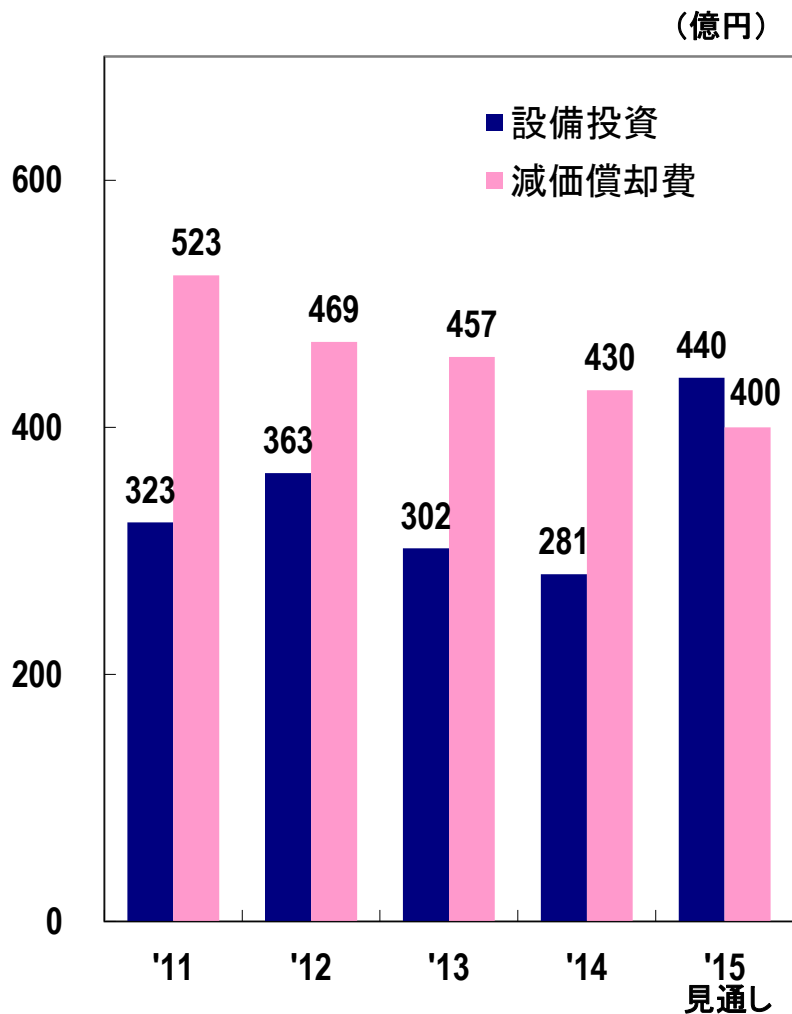
【出所:BZ DewittのDATAを基に弊社推定】

◆ 円/米ドル、円/ユーロ為替レート推移

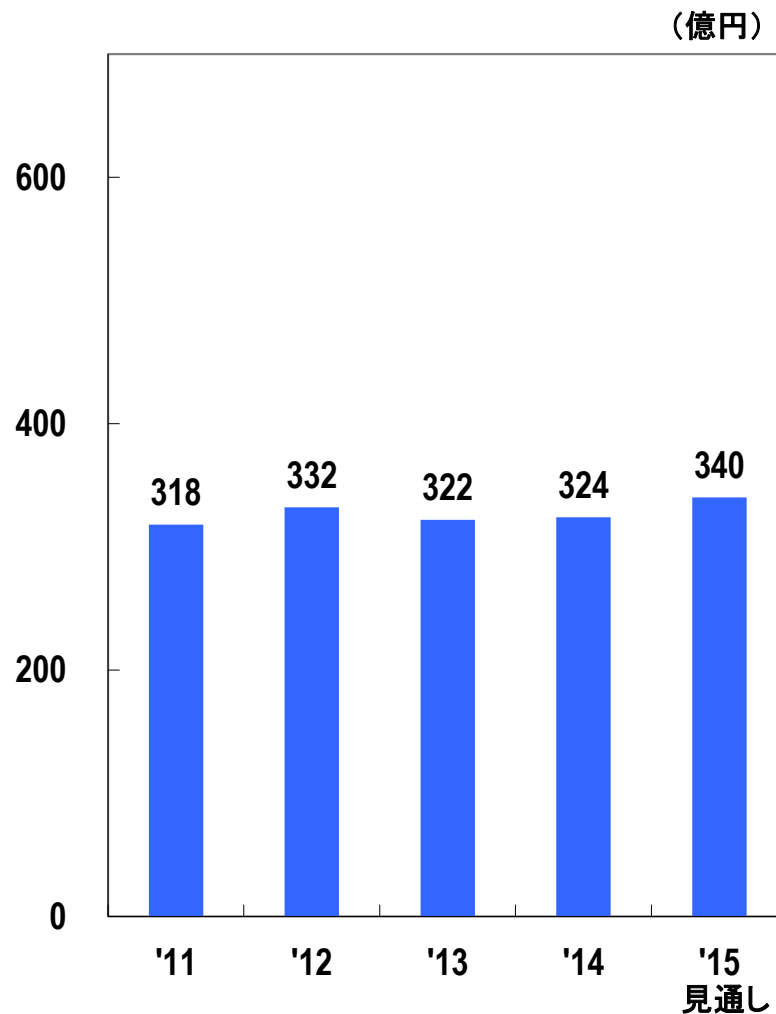


◆設備投資・減価償却費・研究開発費推移

設備投資・減価償却費



研究開発費



◆ 主要医薬品売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	14年度					15年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
ボナロン [®] *1	骨粗鬆症治療剤	31	33	36	30	129	33	33
ワンアルファ [®]	骨粗鬆症治療剤	14	14	15	12	54	13	13
骨粗鬆症治療剤 計		45	46	50	41	182	46	46
フェブリク [®]	高尿酸血症・痛風治療剤	28	39	47	41	155	48	52
ベニロン [®]	重症感染症治療剤	25	24	28	21	98	25	0
ムコソルバン [®]	去痰剤	16	14	19	15	65	18	14
ラキシベロン [®]	緩下剤	8	7	8	6	29	7	7
トライコア [®]	高脂血症治療剤	4	4	5	4	17	4	4
オルベスコ [®]	喘息治療剤	3	3	4	3	12	3	3
ボンアルファ [®]	角化症治療剤	3	3	3	2	11	3	2
ソマチュリン [®] *2	先端巨大症・ 下垂体性巨人症治療剤	2	3	3	3	11	3	4

*1ボナロン[®]/Bonalon[®] はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

*2ソマチュリン[®]/Somatuline[®] は Ipsen Pharma, Paris, France の登録商標です。

◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2015年9月末現在)

* 承認／新規上市は直近1年間を記載

	臨床開発段階				
	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認／ 新規上市
骨・関節 領域		ITM-058 KTP-001			
呼吸器 領域		PTR-36			NA872ET [ムコソルバン]
代謝・ 循環器領 域	TMG-123 TMX-049*1	ITM-014N [ソマチュリン®] (適応追加: 神 経内分泌腫瘍) TMX-67XR [フェブリク]	TMX-67 [フェブキソスタット] (中国)	TMX-67TLS [フェブリク] (適応追加: 腫瘍 崩壊症候群)*2	
その他			GGG-ON, -MPA, -CIDP [ベニロン] (適応追加①: 視神経炎<ON>、 (適応追加②: 顕微鏡的多発血管 炎<MPA>) (適応追加③: 慢性炎症性脱髄性 多発根神経炎<CIDP>)		

*1 新規高尿酸血症・痛風治療薬としてTMX-049の臨床開発を2015年4月に着手。

*2 フェブリクの腫瘍崩壊症候群への適応拡大として開発中のTMX-67TLSは2015年7月厚生労働省に承認申請を実施。

◆ 新規開発医薬品 (2015年9月末現在)

【承認取得】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
NA872ET (アムブロキシソール塩酸塩)	去痰	既に販売している去痰剤アムブロキシソール塩酸塩(ムコソルバン)の小型徐放錠。 ムコソルバンLカプセルより小さいため、服薬しやすく、分包性に優れることが期待される。	徐放錠	導入:独ベーリンガー ・インゲルハイム社 2015年2月承認取得 2015年7月販売開始

【承認申請】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67TLS (フェブキソスタット)	腫瘍崩壊症候群	本剤の強力な尿酸生成抑制作用により、1日1回の投与で、悪性腫瘍に対する化学療法に伴う高尿酸血症の発症を抑制することが期待される。	錠剤	自社開発品 (適応追加) 2015年7月承認申請

【Phase III】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GGs-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
GGs-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害(多発性単神経炎)を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
GGs-CIDP (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	本剤の免疫調節作用により、末梢神経の炎症を抑制し、低下した筋力を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
TMX-67 (フェブキソスタット)	高尿酸血症・痛風	国内販売しているフェブリク錠を中国に導出する。本剤は、強力な尿酸生成抑制効果に加え、腎機能低下等により既存治療薬を使うことのできなかった患者へも使用が可能であり、中国における高尿酸血症・痛風治療の新たな選択肢として、高尿酸血症・痛風患者のQOL(Quality of Life)向上に貢献できることが期待される。	錠剤	共同開発: アステラス中国 (中国)

【Phase II】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-014N (ランレオチド酢酸塩)	神経内分泌腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導(直接的作用)や細胞栄養因子の分泌制御(間接的作用)を介した作用により、神経内分泌腫瘍の進展抑制や諸症状の改善が期待される。	注射	導入: 仏イプセン社 (適応追加)
ITM-058	骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と高い安全性(高カルシウム血症のリスク低減)が期待できる。	注射	導入: 仏イプセン社
KTP-001	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的髄核融解療法剤。 生体内でヘルニアの自然退縮に関わる酵素(マトリックスメタロプロテアーゼ)と同じ構造のヒト型タンパク質であることからアレルギー反応のリスクが少なく、選択的に作用するため、椎間板周囲組織の傷害性が低いと期待される。手術に代わる低侵襲性の治療法の選択肢を広げることができる。	注射	発明者: 波呂浩孝氏、 小森博達氏 共同開発: 化血研
TMX-67XR (フェブキソスタット)	高尿酸血症・痛風	既に販売している高尿酸血症・痛風治療剤フェブキソスタット(フェブリク)の徐放剤。	経口	自社開発品
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序(CRTh2拮抗作用)によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果(軽症患者)や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果(軽症~重症の患者)が期待される。	錠剤	導入: 英プルマジェン・セラピューティクス(アズマ)リミテッド社

【Phase I】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMG-123	2型糖尿病	新規作用機序(肝優位型GK活性化作用)による血糖コントロール薬。 血糖コントロールが不十分な患者で有効性が期待されるほか、高い利便性(1日1回投与、腎機能低下患者で用量調節の必要性低い、薬物相互作用の懸念が少ない等)が期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品

◆ 導入品目の状況 (直近3年間を記載)

導入契約	導入元	内 容
2014年5月	シグマタウ社(英)	ADA欠損症治療薬EZN-2279の日本における独占的開発・販売契約を締結 (臨床準備段階)
2015年3月	大正製薬(株)	変形性関節症の鎮痛・消炎を適応症とした、エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤TT-063の国内における販売権許諾契約を締結 (2015年9月：大正製薬(株)が製造販売承認を取得)

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

Human Chemistry, Human Solutions

テイジンブランドの約束を“Human Chemistry, Human Solutions”と表現します。

この約束は、「人と地球環境に配慮した化学技術の向上と、社会と顧客が期待している解決策を提供することで本当の価値を実現することに挑戦し続けること」を意味しています。

私たちはこの約束を確実に成し遂げ、企業理念であるQuality of Lifeの向上に努め、社会と顧客から信頼される企業グループであり続けます。